マイコンの歴史

１９７０年から１９８０年まではマイコンという言葉はパソコンを呼ぶ際に使われていた言葉でもあり、このマイコンの性質が時代とともに上がっていき、２０世紀では８ビットのように複雑な処理はできなかったが、２１世紀では、３２ビットというようなおおきな処理

もできるようになった。

マイコンの機能

I/O,CPU,ROM,RAM などの周辺機器と呼ばれるもので構成されており、

それぞれの機器がそれぞれの場所で動作することによってマイコンの役割を果たしている。

それぞれの機器の役割

I/O　信号の入出力を行う。

CPU　決められた処理を行う。

ROM　処理の内容を決めてくれる。

RAM　処理結果などのデータを格納する。

マイコンの利点

ある程度の回路の配線などを最初からコンパクトにブロックのような物の中にまとめて、配線を作る作業をより簡単に効率的にできるようにしたもの。様々な種類のものがあり、おおよそどのマイコンブロックにも、つなげたカイロからの信号を受け取る部分とブロック内で処理した信号を、外の回路に出力する役割をもつ部分がある。